



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6026 URL https://gmotech.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木明人  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部部長 (氏名) 染谷康弘 (TEL) 03(5489)6370  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,966	—	2	—	6	—	4	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 4百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	4.12	—
2019年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は2019年12月期第3四半期は非連結での業績を開示しておりましたが、2020年12月期第3四半期より連結業績を開示しているため、2019年12月期第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,111	764	68.8
2019年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 764百万円 2019年12月期 一百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	0.00	0.00	0.00	68.09	68.09
2020年12月期	0.00	0.00	0.00		
2020年12月期(予想)				9.09	9.09

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,100	19.0	50	121.3	50	16.6	20	△85.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) GMO ReTech株式会社 除外 一社(社名) 一  
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	1,100,620株	2019年12月期	1,100,620株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	39,621株	2019年12月期	39,599株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	1,061,013株	2019年12月期3Q	1,061,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6
4. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)における我が国の経済は、これまで緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、世界経済全体の景気後退懸念が高まっております。また、緊急事態宣言により企業活動や個人消費活動が制限される等、日本経済においても先行きが不透明な状況となっております。

当社の事業領域である国内インターネット広告市場は年々拡大傾向にあり、2020年度には2兆円を超える見込み(※1)であります。中でも検索連動型広告や運用型広告が引き続き拡大傾向にあります。また、InstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションやプロモーションが進化しておりました。その中で新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、国内外での社会経済活動がかなり制限される事態となり、消費者のライフスタイルやワークスタイルが変化し、広告主である企業においても広告自粛が始まりました。

また現時点においては緊急事態宣言は解除されており、感染症拡大の防止策を講じ、早期の社会経済の正常化が期待されておりますが、今後の感染症拡大も懸念されており景気の先行きは極めて厳しく、国内インターネット広告市場においても不透明な状況が続くと思われまます。

このような事業環境の下、当社は継続して商品力の向上と営業の効率化に注力し、事業を展開しております。第3四半期においては新型コロナウイルス感染拡大による観光需要の低迷で、新型コロナウイルス対策をしっかりと行っていないながらも、集客に悩む店舗を支援することで、地方経済の活性化の一助になると考え、コロナショックの影響により集客に悩む観光業・飲食業をサポートする「コロナに負けるな!応援プラン」を提供開始いたしました。通常価格の3分の1の価格にてご利用いただけるプランとなっております。

以上により、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,966,980千円、営業利益2,083千円、経常利益6,053千円、四半期純利益4,366千円となりました。

アフィリエイト広告における営業人材教育の遅れとリワード売上の減少、人材業界への新型コロナによる影響が続いており、運用型広告における売上高の減少が四半期業績に影響を及ぼしました。

(※1)出所：株式会社矢野経済研究所「2019インターネット広告市場の実態と展望」

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は、1,111,044千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が444,192千円、売掛金が270,342千円、関係会社預け金が200,000千円であります。

#### (負債)

当第3四半期連結累計期間末における負債合計は、346,587千円となりました。主な内訳は、買掛金195,526千円、未払金88,085千円であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産合計は、764,457千円となりました。主な内訳は、資本金277,663千円、資本準備金267,663千円、利益剰余金310,107千円、自己株式が100,488千円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、緊急事態宣言が解除され、外出自粛や移動制限が徐々に緩和されてきた一方で、収束時期は依然として不透明であり、その影響が長期化する可能性も存在します。このように当社事業に影響を与える事象の内容、時期および発生可能性の程度が不明であることから、現時点において業績予想を合理的に算定することが困難であるため、通期業績予想値には織り込んでおりません。以上により、2020年2月6日の「2019年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想値については変更をしておりません。今後、当社業績に与える新型コロナウイルスの拡大による影響が重大と見込まれることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)は不動産テック事業を営むことを目的としてGMO ReTech株式会社を設立し、連結子会社化したことにより、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	444,192
売掛金	270,342
関係会社預け金	200,000
前払費用	34,820
その他	13,078
貸倒引当金	△4,331
流動資産合計	958,102
固定資産	
有形固定資産	12,490
無形固定資産	23,452
投資その他の資産	
投資有価証券	86,213
関係会社株式	0
敷金	30,785
投資その他の資産合計	116,998
固定資産合計	152,941
資産合計	1,111,044
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	195,526
未払金	88,085
その他	45,286
流動負債合計	328,898
固定負債	
繰延税金負債	6,589
資産除去債務	11,098
固定負債合計	17,688
負債合計	346,587
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	277,663
資本剰余金	267,663
利益剰余金	310,107
自己株式	△100,488
株主資本合計	754,945
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	9,512
その他の包括利益累計額合計	9,512
純資産合計	764,457
負債純資産合計	1,111,044

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,966,980
売上原価	1,368,748
売上総利益	598,232
販売費及び一般管理費	596,148
営業利益	2,083
営業外収益	
受取利息	106
保険返戻金	4,858
その他	776
営業外収益合計	5,741
営業外費用	
為替差損	1,771
営業外費用合計	1,771
経常利益	6,053
特別利益	
投資有価証券売却益	299
特別利益合計	299
税金等調整前四半期純利益	6,353
法人税、住民税及び事業税	960
法人税等調整額	1,025
法人税等合計	1,986
四半期純利益	4,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,366

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,366
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	706
四半期包括利益	5,073
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,073

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

当社は、「集客支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。



#### 4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。